

(様式1)

平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年3月23日	記入者		連絡先	2513
平成18年度部名	市民部	課名	市民生活課	課長名	中野 清
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	市民協働推進課	課長名	片野 憲治
事務事業名	ふれあい広場整備事業				
予算上の事務事業名	ふれあい広場整備費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				
施策名	第2施策 コミュニティ活動の支援				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市立ふれあい広場条例、同条例施行規則、同設置基準、同要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
	地域住民のコミュニティ活動を促進するための場として、軽スポーツ、レクリエーション、文化活動等、子どもからお年寄りまでが自由にかつ多目的に利用できる広場として、整備を進め、もって個性豊かなコミュニティづくりを進める。			(2) 対象(誰、何)	
				利用者	
	(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
	若沼ふれあい広場 整備面積 2,211㎡ 経費内訳 整備工事費 28,465千円 測量業務委託 577千円 備品購入 112千円 水道利用加入等負担金 142千円 合計 29,296千円				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	32,016	30,503	29,296	45,000	18,176
一般財源	24,990	25,503	23,296	8,300	15,176
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	7,026	5,000	6,000	36,700	3,000
人件費の合計	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415
事業コスト合計	34,431	32,918	31,711	47,415	20,591
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	ふれあい広場整備事業			対象名称 と単位	1箇所当たりのふれあい 広場整備費
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	34,431	32,918	31,711	47,415	20,591
対象数	2	1	1	2	1
単位あたり経費(円)	17,215,500	32,918,000	31,711,000	23,707,500	20,591,000
前年度比		1.91	0.96	0.75	0.87

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	ふれあい広場設置数		指標式と指標の説明	ふれあいの広場設置数÷設置目標数 将来の設置目標（相模原地域の1公民館区に2箇所、計4.6箇所）に向け、毎年1箇所ずつ整備する	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	ふれあい広場設置数		指標式と指標の説明	ふれあいの広場設置数÷設置目標数 将来の設置目標（相模原地域の1公民館区に2箇所、計4.6箇所）に向け、毎年1箇所ずつ整備する	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	30.0	31.0	32.0		
目標	30.0	31.0	32.0	34.0	35.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成18年度は大沼公民館区2箇所目となる若沼ふれあい広場を、地域からの要望に基づき整備した。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
			1公民館区に2箇所を目標にふれあい広場の整備を進めているが、現在2箇所に達していない公民館区の整備を優先し、計画的に行うこと。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		今後も効率的・効果的な事業の実施を推進すること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			